

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	理科 (化学・生物)	2	1年1組～3組

使用教科書	副教材
未来へひろがるサイエンス1 (啓林館)	新中学問題集 最新理科便覧神奈川県版 (浜島書店) 未来へひろがるサイエンス1マイノート (啓林館)

1. 学習の目標

身近な植物や物質について、観察・実験を通して認識を深め、生命を尊重し、自然環境を保全しようとする意欲と態度を育てる。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
植物のつくりとはたらき、なかまに関する事物・現象に関心をもち、意欲的に探求する。物質の性質や水溶液に関する事物・現象に関心をもち、意欲的に考察する。	植物に関する事物・現象のなかに問題を見出し、実験し、総合的に考察できる。物質の事物・現象のなかに問題を見出し、実験し、問題を解決できる。	植物の事物・現象についての規則性を見出したり、創意ある報告書を作成できる。物質の事物・現象について、実験操作や記録の仕方を習得し報告書を作成できる。	植物の事物・現象について理解し、知識を身につける。身のまわりの物質に関する事物・現象について理解し、知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	植物のくらしとなかま 1章 花のつくりとはたらき	アブラナとツツジの観察を通し、花の作りには共通点があることを見出し、花が生殖器官であることを学ぶ。 種子植物は被子植物と裸子植物に分けられることを理解する。	定期試験 (中間・期末) 授業態度・ノート・実験プリント・宿題をもとに総合的に評価する。
	5	2章 根や茎のつくりとはたらき	根、及び茎の観察を行い、維管束のちがいなどの特徴を見出す。また、植物のからだのつくりとはたらきの関係を、観察実験を通して学ぶ。	
	6	3章 葉のつくりとはたらき	葉の観察を行い、葉脈の通り方のちがいや、細胞中に葉緑体があること、表皮に気孔があることなどに気づき、蒸散と光合成、植物の呼吸についても学ぶ。	
2	9	4章 植物のなかま分け	これまでの観察記録より、種子植物が分類できることを学ぶ。	定期試験 (中間・期末) 授業態度・ノート・実験プリント・宿題をもとに総合的に評価する。
	10	身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその性質	身のまわりの物質に興味・関心をもち、どのようにして物質を区別すればよいかを考え、その性質を調べる方法について学ぶ。金属であるか調べる実験を行い、金属に共通な性質を見出すとともに、密度によって物質を区別することができることを学ぶ。白い粉末状の物質を、さまざまな方法で調べ、有機物と無機物について学ぶ。	
	11	2章 いろいろな気体とその性質	気体の発生・捕集方法・性質の調べ方について学ぶ。	
3	1	3章 水溶液の性質	水溶液中では溶質が均一に分散していることを学ぶ。濃度について理解し、質量パーセント濃度の計算を行う。再結晶により混合物から純粋な物質を取り出せることを学ぶ。	定期試験・授業態度・ノート・実験プリント・宿題をもとに総合的に評価する。
	2	4章 物質の状態とその変化	水以外の状態変化の例をあげて、状態変化と温度の関係を学ぶ。状態変化における体積と質量変化について学ぶ。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。